

社会資本総合整備計画(防災・安全) 成果目標値(定量的指標)の「評価方法書」

【指標1】	下水道による都市浸水対策が必要な区域のうち、概ね1／5確率の降雨に対して下水道整備により内水浸水被害が防止できる割合(都市浸水達成率)を21.3%(R7当初)から21.6%(R11末)に増加させる。
-------	---

A: 計画策定時の「当初現況値」の求め方	
①現況値の基準時点	令和7年4年
②実施主体	周南市
③計測手法	浸水対策を実施すべき面積3,658.3ha(a)のうち、浸水対策実施済面積779.9ha(b)から $(b) \div (a) \times 100$ で算出。 浸水対策実施済面積(b)779.9ha ÷ 浸水対策を実施すべき面積(a)3,658.3ha × 100 = 21.3%

B: 中間評価時のデータの計測方法と「中間目標値」の求め方	
④計測時期	
⑤実施主体	
⑥データの計測方法	
⑦評価値の求め方	

C: 事後評価時のデータの計測方法と「最終目標値」の求め方	
⑧計測時期	令和12年3月
⑨実施主体	周南市
⑩データの計測方法	浸水対策を実施すべき面積3,658.3ha(a)のうち、浸水対策実施済面積789.4ha(b)から $(b) \div (a) \times 100$ で算出。
⑪評価値の求め方	浸水対策実施済面積(b)789.4ha ÷ 浸水対策を実施すべき面積(a)3,658.3ha × 100 = 21.6%

※必要に応じて資料を添付してください

社会資本総合整備計画(防災・安全) 成果目標値(定量的指標)の「評価方法書」

【指標2】	ストックマネジメント計画(管路)に基づき、改築達成率を0%(R7当初)から100%(R11末)に増加させる。
-------	--

A: 計画策定時の「当初現況値」の求め方	
①現況値の基準時点	令和7年4年
②実施主体	周南市
③計測手法	ストックマネジメント計画(管路)により、改築実施済管路延長を(a)、改築すべき管路延長を(b)として、 $(a) \div (b) \times 100$ で算出。 改築実施済管路延長0m(a)÷改築すべき管路延長1,281m(b)×100=0%

B: 中間評価時のデータの計測方法と「中間目標値」の求め方	
④計測時期	
⑤実施主体	
⑥データの計測方法	
⑦評価値の求め方	

C: 事後評価時のデータの計測方法と「最終目標値」の求め方	
⑧計測時期	令和12年3月
⑨実施主体	周南市
⑩データの計測方法	ストックマネジメント計画(管路)により、改築実施済管路延長を(a)、改築すべき管路延長を(b)として、 $(a) \div (b) \times 100$ で算出。
⑪評価値の求め方	改築実施済管路延長1,281m(a)÷改築すべき管路延長1,281m(b)×100=100%

※必要に応じて資料を添付してください

社会資本総合整備計画(防災・安全) 成果目標値(定量的指標)の「評価方法書」

【指標3】	ストックマネジメント計画(処理場、ポンプ場)に基づき、改築達成率を0%(R7当初)から100%(R11末)に増加させる。
-------	--

A: 計画策定時の「当初現況値」の求め方	
①現況値の基準時点	令和7年4年
②実施主体	周南市
③計測手法	ストックマネジメント計画(処理場、ポンプ場)により、計画期間内に改築すべき設備数(8施設)を抽出し、改築実施済設備(a)÷改築すべき設備(b)×100で算出。(管理棟、監視制御設備、汚泥処理設備、汚泥脱水設備、自家発電設備、汚水ポンプ設備、雨水ポンプ設備、受変電設備) 改築実施済設備0(a)÷改築すべき設備8(b)×100=0%

B: 中間評価時のデータの計測方法と「中間目標値」の求め方	
④計測時期	
⑤実施主体	
⑥データの計測方法	
⑦評価値の求め方	

C: 事後評価時のデータの計測方法と「最終目標値」の求め方	
⑧計測時期	令和12年3月
⑨実施主体	周南市
⑩データの計測方法	ストックマネジメント計画(処理場、ポンプ場)により、計画期間内に改築すべき設備数(8施設)を抽出し、改築実施済設備(a)÷改築すべき設備(b)×100で算出。(管理棟、監視制御設備、汚泥処理設備、汚泥脱水設備、自家発電設備、汚水ポンプ設備、雨水ポンプ設備、受変電設備)
⑪評価値の求め方	改築実施済設備8(a)÷改築すべき設備8(b)×100=100%

※必要に応じて資料を添付してください

社会資本総合整備計画(防災・安全) 成果目標値(定量的指標)の「評価方法書」

【指標4】	上下水道耐震化計画に基づき、管路の耐震性能確保達成率を0%(R7当初)から100%(R11末)に増加させる。
-------	--

A: 計画策定時の「当初現況値」の求め方	
①現況値の基準時点	令和7年4年
②実施主体	周南市
③計測手法	上下水道耐震化計画により、耐震性能確保済管路延長を(a)、耐震性能を確保すべき管路延長を(b)として、 $(a) \div (b) \times 100$ で算出。 耐震性能確保済管路延長0m(a)÷耐震性能を確保すべき管路延長22.1km(b)×100=0%

B: 中間評価時のデータの計測方法と「中間目標値」の求め方	
④計測時期	
⑤実施主体	
⑥データの計測方法	
⑦評価値の求め方	

C: 事後評価時のデータの計測方法と「最終目標値」の求め方	
⑧計測時期	令和12年3月
⑨実施主体	周南市
⑩データの計測方法	上下水道耐震化計画により、耐震性能確保済管路延長を(a)、耐震性能を確保すべき管路延長を(b)として、 $(a) \div (b) \times 100$ で算出。
⑪評価値の求め方	耐震性能確保済管路延長22.1km(a)÷耐震性能を確保すべき管路延長22.1km(b)×100=100%

※必要に応じて資料を添付してください